第67回 全国IE年次大会

Change!
Connect!
Create!

吹かすばい IEの新しい風

全体会議

2026年 7月 8日（水）13:00~17:30

会場参加：福岡国際会議場 ／ オンライン参加：ライブ配信

※ご参加の皆さまには、大会終了後、アーカイブ配信をご利用いただけます。（許可をいただいた講師のみ）

事例発表会

2026年 7月 9日（木）10:00~16:00

第1分科会 「変えようモノづくり」 4事例
第2分科会 「創ろうコトづくり」 4事例
第3分科会 「未来へつなげる人づくり」 4事例

※ご参加の皆さまには、大会終了後、アーカイブ配信をご利用いただけます。（許可をいただいた事例のみ）

現場研修会（10コース）

2026年 7月 10日（金） 9:30~12:00

TOTO㈱　㈱安川電機　トヨタ自動車九州㈱　日産自動車九州㈱
㈱ブリヂストン 久留米工場　西部電機㈱　アイシン九州㈱
㈱タカギ 新本社工場　九州旅客鉄道㈱ 安全創造館　㈱デンソー九州

※コースにより開催方法・開催時間が異なる場合があります

主 催

日本インダストリアル・エンジニアリング協会　中部インダストリアル・エンジニアリング協会
関西インダストリアル・エンジニアリング協会　九州インダストリアル・エンジニアリング協会

Change！ Connect！ Create！

吹かすばい IE の新しい風

モノづくり産業を取り巻く環境は、かつてない予測困難な激動の時代を迎えています。地政学的なリスク、物価の持続的な上昇、そしてグローバル経済の不確実性は、私たちの未来の見通しをより困難にし、サプライチェーンのあり方にも大きな影響を与えています。

このような厳しい時代だからこそ、私たちは新たな価値創造へと舵を切る必要があります。カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーへの対応は、もはや企業が持続的に成長するための不可欠な戦略となっています。

よって、変化に臆することなく、未来を自らの手で創り出すためにサプライチェーンの強靭化、AI や IoT、ロボットがもたらす技術革新への対応、熟練の技を次世代に継承するためのデジタル活用等にどう向き合うか、未来に向けたモノづくりイノベーションを加速させることが、今、強く求められています。

そこで、第67回全国IE年次大会では、「Change！ Connect！ Create！」～吹かすばい IE の新しい風～を大会統一テーマに開催し、全国のモノづくりに携わる関係者が、講演・事例発表会・現場研修会により未来に向けたモノづくり革新のあり方や進むべき方向を探る場とします。

日本インダストリアル・エンジニアリング協会 日　本　電　気　㈱	会　長 取締役会長	新　野　　隆
中部インダストリアル・エンジニアリング協会 トヨタ自動車㈱	会　長 元副社長	須　藤　誠　一
関西インダストリアル・エンジニアリング協会 パナソニック ホールディングス㈱	会　長 MI 本部本部長	松　本　敏　宏
九州インダストリアル・エンジニアリング協会 Ｔ　Ｏ　Ｔ　Ｏ　㈱	会　長 取締役専務執行役員	林　　良　祐

協　賛　公財）日本生産性本部　北海道生産性本部　東北生産性本部　一財）中部生産性本部
公財）関西生産性本部　中国生産性本部　四国生産性本部　公財）九州生産性本部

1日目　7月8日（水）　全体会議

13：00～ 13：05	開会挨拶	全国ＩＥ年次大会　大会会長 九州ＩＥ協会　会長 TOTO(株)　取締役専務執行役員　林　良祐
13：05～ 13：25	「日本ＩＥ文献賞」　表彰式	
13：30～ 14：40	講演１	**「AIロボティクスが導く社会変革へのブレイクスルー」** (株)安川電機　代表取締役社長　小川　昌寛 氏
15：00～ 16：00	講演２	**「すべてのモノづくりにデータサイエンスを」** **～製造現場のデータ活用と統計的思考～** 統計家 ／ (株)ソウジョウデータ　代表取締役 中央大学 理工学部理工学研究科（AI･データサイエンスセンター）　客員教授 千葉大学　データサイエンスコア特任教授　西内　啓 氏
16：20～ 17：20	講演３	**「組織を動かす信念と覚悟」～未来を見る･創る･ひらくために～** 福岡ソフトバンクホークス　元監督　工藤　公康 氏
17：25～ 17：30	次期開催地挨拶	日本ＩＥ協会　会長 日本電気(株)　取締役会長　新野　隆
17：45～ 19：00	**交流会**	※会場参加の方はどなたでも参加いただけます

講師プロフィール

(株)安川電機　代表取締役社長　小川　昌寛　氏

1964年8月生まれ、福岡県北九州市出身。
1987年九州芸術工科大学（現・九州大学）芸術工学部を卒業後、安川電機製作所（現・安川電機）に入社。
ロボットのマニピュレータ設計や応用技術をはじめ、開発領域を中心にロボット事業に従事。
2010年には米国安川株式会社の会長として米州全域の事業運営を統括。
2016年に帰任し、ロボット事業部長としてグローバルにロボット事業を牽引。
2023年3月より代表取締役社長に就任し、現在に至る。

統計家 ／ (株)ソウジョウデータ　代表取締役
中央大学 理工学部理工学研究科（AI･データサイエンスセンター）　客員教授
千葉大学　データサイエンスコア特任教授　西内　啓　氏

1981年生まれ。東京大学医学部卒（生物統計学専攻）。東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野助教、大学病院医療情報ネットワーク研究センター副センター長、ダナファーバー/ハーバードがん研究センター客員研究員を経て、2010年より企業と行政のデータ活用プロジェクト支援に多数従事した後、2024年11月に株式会社ソウジョウデータを創業。
著書に累計52万部を突破した『統計学が最強の学問である』シリーズ（ダイヤモンド社）のほか、『統計学が日本を救う』（中公新書ラクレ）などがある。

福岡ソフトバンクホークス　元監督　工藤　公康　氏

1963年愛知県生まれ。1982年名古屋電気高校（現：愛工大名電高校）を卒業後、西武ライオンズに入団。以降、福岡ダイエーホークス、読売ジャイアンツ、横浜ベイスターズなどに在籍し、現役中に14度のリーグ優勝、11度の日本一に輝き優勝請負人と呼ばれる。実働29年プロ野球選手としてマウンドに立ち続け、2011年正式に引退を表明。
2015年から福岡ソフトバンクホークスの監督に就任。2021年退任までの７年間に5度の日本シリーズを制覇。最優秀選手（MVP）2回、最優秀防御率４回、最高勝率４回など数多くのタイトルに輝き、通算224勝を挙げる。正力松太郎賞を歴代最多に並ぶ5回、2016年には野球殿堂入りを果たす。2020年監督在任中ながら筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻を修了。体育学修士取得。2022年4月より同大学院博士課程に進学、スポーツ医学博士取得に向け研究や検診活動を行う。
現在、仕事の傍ら農作業、DIYに勤しみ、子供たちの未来を見つめ、手作り球場や遊びの場を作る活動も行っている。

Photo : daisuke yoshinari

2日目　7月9日（木）　事例発表会

第1分科会
変えようモノづくり

ＩｏＴ・ＡＩ・デジタル化等による生産革新、グローバル競争への対応、SCM等に関するテーマ

第2分科会
創ろうコトづくり

付加価値創造やイノベーションにつながる取り組みや挑戦等に関するテーマ

第3分科会
未来へつなげる人づくり

技能伝承、人材育成、職場活性化等、日々のモノづくりを支える改善・人づくりの取り組みに関するテーマ

事例発表の流れ

１事例　６５分

発　　表　５０分
意見交換　　５分（会場）
質疑応答　１０分（会場・オンライン）

	【第１分科会】変えようモノづくり
10：00～ 11：05	**①ＴＯＴＯファインセラミックス㈱** 「TOTOセラミック事業　アナログ生産からデジタル生産へ」 ～SF･DXによる生産方式改革による生産性向上～ ＴＯＴＯファインセラミックス㈱ 代表取締役社長 櫻　井　隆　好　氏 ①品質データのDX化を行い、傾向監視とBD分析による継続的な品質改善 ②工程のSF化による品質・生産性の改善 ③工場のDX化を行い高速需要連動生産を実現
11：25～ 12：30	**②　シスメックス㈱** 「DXを活用した よりシームレスな生産体制に向けた取組み」 シスメックス㈱ 機器生産本部プリンシパルエンジニア 西　尾　博　至　氏 ①生産工場におけるデジタルデータ連携のスコープ ②エンジニアリングチェーンにおける活用事例紹介 ③プロダクションフロアにおける活用事例紹介
コーディネーター	◆東京都市大学　デザイン・データ科学部デザイン・データ科学科特任教授　斎藤　文 ◆㈱戸上電機製作所　製造本部生産・改善統括部生産技術Ｇマネージャー　阿部　真一
12：30～ 13：30	昼　食　休　憩　　（※昼食はお弁当を準備します）
13：30～ 14：35	**③　㈱安川電機** 「i³-Mechatronicsを実践する “変動に左右されない”次世代ロボット工場」 ㈱安川電機 生産本部生産技術部生産自動化開発部生産自動化企画課課長 黒　岩　康　文　氏 ①ロボットとモータの一貫生産で、安定生産とコストの削減を実践 ②自社最新製品を活用した自動化領域の拡大と生産性の向上 ③変種変量に対応できる柔軟なモノづくりとデータによる生産性・品質改善
14：55～ 16：00	**④　㈱デンソー** 「現場に宿る実践知とAIを融合したモノづくり革新」 ～培ってきたリーンオートメーションの深化～ ㈱デンソー ＦＡ事業部事業部長 横　瀬　健　心　氏 ①競争力ある製品とそれを支える現場をつくる「リーンオートメーション」 ②現場に根差す「データオリエンテッドなカイゼン」と価値創造の進め方 ③デンソーが開発・提案する「次世代のモノづくりインフラ」とは
コーディネーター	◆大阪公立大学　大学院経営学研究科准教授　高木　修一 ◆黒崎播磨㈱　耐火物製造事業本部マネージャー　南　祐基

※会場参加の方は、お申込時に第1、第2、第3分科会いずれかを希望されるか選択ください。（当日の会場移動は可能です）
また、オンライン参加の方同様、後日ご案内するアーカイブ配信で全ての事例を視聴いただけます。

【第２分科会】 創ろうコトづくり

① ㈱Prodrone

「ドローンで『防ぐ・救う・護る』」
～あいちから町工場の底力～

㈱Prodrone
代表取締役社長
戸　谷　俊　介　氏

①平時、災害時、国際問題へのドローンによる貢献
②愛知発ドローンメーカーが支える国産化への取り組み
③自治体や企業と連携した社会実装の実例紹介

② トヨタ自動車九州㈱

「地域で支える教職員の働き方改革」
～小学校現場に寄り添うトヨタ生産方式（TPS）の異業種実践奮闘記～

トヨタ自動車九州㈱
TPS 推進部 TPS 支援室事技系 TPS 支援グループ
和久田　篤　男　氏

①教職員の忙しさは「仕事の構造」の問題
②業務の見直しを通じて「ムダに気づく視点」を現場で育てる
③環境改善が児童と向き合う時間を大切にする意識の変化を生む

◆㈱ジェイテクト　生産調査部上席プロフェッショナル　藤富　俊幸
◆福岡工業大学　情報工学部情報マネジメント学科教授　小林　稔

昼 食 休 憩　（※昼食はお弁当を準備します）

③ ㈱リード

「品質育成システムへの挑戦 -製品保証から性能保証への進化-」
～データ連携と AI 活用による品質の構造的進化と価値創出～

㈱リード
代表取締役社長
鍋　谷　陽　介　氏

①製造工程と顧客加工データを繋ぐ品質育成の仕組み
②自社開発 AI・センサー・システムで暗黙知・品質を定量化
③品質データの蓄積から性能保証ビジネスモデルへ

④ 髙丸工業㈱

「ロボットを活用した日本のものづくりの将来」
～多品種少量生産を実現する省力化装置としてのロボット～

髙丸工業㈱
代表取締役
髙　丸　　正　氏

①本来、ロボットとは製品の多品種化に対応するために開発された装置である
②ロボット導入の目的や手段は、大企業と中小企業とで大きな差がある
③仕事を求める世界中の人と企業をマッチングさせる機器としてロボットを活用する

◆慶應義塾大学　名誉教授　河野　宏和
◆大　　電㈱　電線事業部製造部生産技術課長　辻　純一郎

【第３分科会】 未来へつなげる人づくり

① アイシン九州㈱

「デジタルツールを活用し業務効率向上とデジタル人材の育成」
～デジタル活用により改善の畑を可視化し業務改善する～

アイシン九州㈱
人事・総務部部長
熊　谷　隆　之　氏

①IT・IoT 化に向けた課題の明確化
②ベンチマークと連携体制の確立
③データを活用し自ら課題解決できる人財育成

② リコーインダストリー㈱　東北事業所

「はたらくに歓びを！」
～従業員一人ひとりがイキイキと活躍できる未来へつなげる人づくり～

リコーインダストリー㈱　東北事業所
プリンタ生産事業部事業部長
伊　深　佳　幸　氏

①次世代を担う自律型人材の育成
②改善活動を通じた職場活性化と働きがい向上
③未来へ繋げる仕組みづくり

◆大阪工業大学　情報科学部データサイエンス学科教授　皆川　健多郎
◆日本製鉄㈱九州製鉄所　生産技術部生産技術室　戸田　優

昼 食 休 憩　（※昼食はお弁当を準備します）

③ 三菱電機㈱

「現場が主役の DX 推進」
～ローコードツール・生成 AI の民主化が切り拓く人づくりとイノベーション～

三菱電機㈱
パワーデバイス製作所　製造管理部生産技術第一課　大　森　康　太　氏
半導体・デバイス事業本部半導体M-X推進プロジェクトグループ　石　川　達　也　氏

①IE 人材育成による現場改善力向上
②ローコードツール・生成 AI 活用の民主化
③IE と DX を融合した改善活動事例

④ 住友電気工業㈱

「モノづくり力の進化と深化を支える人材の育成」
～「明日からの行動が変わる」研修を目指して～

住友電気工業㈱
生産技術本部テクニカルトレーニングセンター センター長
篠　木　秀　次　氏

①実機・現物に触れながら原理原則を五感で学ぶ
②「点」ではなく「線」としてのキーパーソン育成
③モノづくり改善・改革のプロを育成する実践テーマ研修

◆日本特殊陶業㈱　ビジネスインプリメンテーション本部生産技術部部長　武田　茂裕
◆ヤンマー建機㈱　生産部生産管理部調達課課長　山田　晴輝

3日目　7月10日（金）　現場研修会

基本的な流れ

会社(工場)概要、テーマのプレゼンテーション　→　現場見学　→　意見交換、質疑応答

コース	視　察　先
A	**TOTO㈱** 開催時間:9:00~12:00 集合場所:JR 小倉駅（8:50） **製造基盤強化による生産革新活動** 同社は、1917 年に東洋陶器㈱として設立、日本初の陶器製腰掛け水洗便器の生産を開始し、創業 109 周年を迎える。小倉工場は、マザー工場として『技術伝承による人財育成』や『多様なニーズに応える生産体制の確立』など、製造基盤を強化しながら各拠点へ展開できる製造技術や人財を蓄積している。 創立 100 周年を記念し開設した「TOTO ミュージアム」では、快適な生活文化創造の軌跡や、今も受け継がれるものづくりの想いなどを紹介する。 生産品目：衛生陶器
B	**㈱安川電機　みらい館／第５工場** 開催時間:9:30~12:00 集合場所:現地集合（JR 黒崎駅から徒歩3分） **i³-Mechatronics を実践する“変動に左右されない”次世代ロボット工場** 主力製品であるロボットの生産ラインを担うマザー工場として、自動化・省人化を幅広く推進。受注から出荷までを調整レスでつなぐプロセスと、現場データと計画を連携するプラットフォームを整備した。さらに変種変量生産に対応する柔軟な体制を備え、需要変動に強い安川電機のフラッグシップ工場を紹介する。 生産品目：産業用ロボット
C	**トヨタ自動車九州㈱** 開催時間:10:00~12:00 ※オンライン(リモート)開催 **九州から世界へ魅力あふれる「Made in Kyushu」のクルマを発信** 同社は1991年、トヨタが九州の地に貢献したいという思いの元、愛知県外で初めてとなる車両工場として誕生。九州のものづくりの力を集結させ、地域の様々な企業と一体となり「TeaMKyushu」としてクルマづくりに励んでいる。現在、レクサス NX・ES・RX の 3 種類を混流生産しており、「よいクルマをより安くタイムリー」にお客様にお届けするために、絶え間ない改善を推進。クリーン＆サイレントで人にやさしいラインづくりと、匠の技と技術の融合による高品質なクルマづくりを紹介する。 生産品目：自動車
D	**日産自動車九州㈱** 開催時間:9:30~12:00 集合場所:JR 小倉駅（8:10） **将来の環境変化に対応する生産革新** 同社は、日産国内最大の量産工場であり、九州を代表する完成車工場として、高品質なクルマづくりに取り組んでいる。 将来の市場変化や環境の変動に対応できる生産現場を目指し、NPW(Nissan Production Way)の考え方をベースに、日々改善活動を進めている。今回の工場見学では、将来に向けた取り組みをテーマに、プレゼンテーションと現場見学を組み合わせて取り組みを紹介する。 生産品目：自動車：セレナ、エクストレイル、ローグ
E	**㈱ブリヂストン　久留米工場** 開催時間:10:00~12:00 集合場所:現地集合（JR 久留米駅から徒歩 5 分） **マザー工場として世界へ DNA と製造力を発信** ブリヂストン久留米工場は、同社創業者・石橋正二郎氏により純国産初のタイヤ工場として 1931 年 3 月に操業を開始。同工場はブリヂストンの歴史そのものであり、現在でも同グループを支える生産拠点として、乗用車用、小型トラック用、航空機用等々の各種タイヤを生産。2010 年に SEQCD の向上とリーンな生産体制を狙った工場へリニューアル。現在は Bridgestone E8 Commitment を軸とした活動を推進している。 生産品目：乗用車用/小型トラック用/航空機用タイヤ

コース	視　察　先	
F	**西部電機㈱**	開催時間:9:30~12:00 集合場所:現地集合（JR 古賀駅　徒歩7分）
	自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く	
	同社は 1927 年に西部電気工業所として創業以来､現在の西部電機として 2027 年に１００周年を迎えます。搬送機械、産業機械、精密機械の 3 つの事業を柱として、自動車・電機・金型・水・ガス・石油・船舶など幅広い分野で生産性の向上、物流の合理化・効率化・無人化に寄与、国内外のお客様から多大のご愛顧をいただいています。また､2025 年から購入電力を 100%再生可能エネルギーに切り替え CO_2削減にも取り組んでいます。 生産品目：立体自動倉庫、バルブアクチュエータ、ワイヤ放電加工機	
G	**アイシン九州㈱**	開催時間:9:30~12:00 集合場所:JR 熊本駅（8:50）
	デジタル化を含めた生産性向上の取り組みと継続的な改善	
	同社は1993年に熊本にて操業を開始。以来、九州地区の自動車部品メーカーのリーディングカンパニーとして、「品質至上」を基本理念に、“メイド･イン･九州のものづくり”を目指し、ＢM改善活動 自らの立ち位置を知り、学び、考え、行動し、成長する！をテーマにネットワークを介して改善を繋げ、技術スタッフから現場技能員全てが共有し、改善を進めている。 生産品目：自動車部品（車体部品、パワトレ部品、走安商品）	
H	**㈱タ カ ギ**	開催時間:13:30~15:50 集合場所:JR 小倉駅（12:50）
	水まわり技術で人を潤す。世界を潤す。	
	㈱タカギは、福岡県北九州市に本社を置く、水まわり製品の開発・製造・販売を行うメーカーです。蛇口一体型浄水器「みず工房」や散水用品など、水に関わる幅広い製品を展開しています。独自の金型技術や樹脂成形技術を強みに、高品質な製品づくりを行い、人々の快適で豊かな暮らしを支える企業として事業を展開しています。 生産品目：家庭用園芸用品、家庭用浄水器、金型事業	
I	**九州旅客鉄道㈱　安全創造館**	開催時間:13:30~15:50 集合場所:JR 小倉駅（13:10）
	「お客さまや社員の安全のために行動できる社員」の育成	
	同社社員研修センターは、『学び、挑戦する人づくり』の場として相応しい教育環境を創造するために、“０哩”をコンセプトに「人づくり」「ＤＮＡ伝承」「持続可能な教育環境」の 3 つの柱を掲げ、これまで培ってきた歴史や伝統、鉄道のプロとしての技術を未来につなぐ原点となる教育施設を目指している。また、安全創造館は、2011 年 1 月に開設し、理念である「過去の事故等の教訓を風化させず、基本動作や安全対策の意味を理解し、お客さまや社員の安全のために行動できる社員の育成」を実現するため、取り上げる事故や研修テーマを変えながら研修を行っている。	
J	**㈱デンソー九州**	開催時間:9:30~12:00 集合場所:JR 黒崎駅（9:10）
	伝統と革新が融合した技術で人々の幸せに貢献	
	同社は、1993 年にデンソーの九州工場としてカーエアコンの生産を開始。 2006 年にデンソー北九州製作所として独立、以降工場を拡張し、2014 年 4 月にはデンソー九州に社名変更を行った。ラジエータやカーエアコン、ディーゼル燃料噴射機器部品など様々な自動車部品を生産している。西日本の自動車産業発展の一翼を担い、地域を代表する会社になるべく、モノづくりの基本の定着と革新的取り組みに挑戦し続けている。 生産品目：ラジエータ、カーエアコン、インジェクタ、ワイパーリンク等	

注意事項

・3 日目現場研修会のみの申込は受け付けておりません。〈参加コースは参加証でご確認下さい〉
・コースによって開催方法･開催時間が異なります。
・各コース定員に達し次第､募集終了となります。
・訪問先へは貸切バスで移動､あるいは現地集合です。　マイカーでの来場不可
・集合場所､時間､持参品等詳細についてはコース確定後にご案内します。

第67回 大会組織

■大会会長

（2026.04.1現在）

日本インダストリアル・エンジニアリング協会 日本電気㈱	会長 取締役会長	新野　隆
中部インダストリアル・エンジニアリング協会 トヨタ自動車㈱	会長 元副社長	須藤誠一
関西インダストリアル・エンジニアリング協会 パナソニック ホールディングス㈱	会長 MI本部本部長	松本敏宏
九州インダストリアル・エンジニアリング協会 ＴＯＴＯ㈱	会長 取締役専務執行役員	林　良祐

■大会副会長

㈱東芝	常務執行役員	藤塚真也	㈱神崎高級工機製作所	代表取締役社長	山岡義宗
日産自動車㈱	執行職 パワートレイン・EV コンポーネント生産技術開発本部 本部長	井口栄二	㈱クボタ	エグゼクティブオフィサー 機械グローバルオペレーション本部製造統括ユニット長	神原裕司
日本電気㈱	Corporate SVP 兼 CBXO 兼 ビジネスプロセストランスフォーメーション部門長	井手伸一郎	住友電気工業㈱	常務取締役生産技術本部長	戸川　契
㈱日立製作所	執行役常務	久米　正	ダイキン工業㈱	常務執行役員 空調生産本部長 堺製作所長	森田重樹
㈱ブリヂストン	常務役員	山﨑憲二	ダイハツ工業㈱	生産調達本部主査	那須信夫
大同特殊鋼㈱	常務執行役員	狩野　隆	東洋紡㈱	代表取締役専務執行役員 Co-COO	酒井太市
大同メタル工業㈱	代表取締役社長兼ＣＯＯ	古川智充	トヨタ自動車九州㈱	取締役副社長	岩原信隆
㈱デンソー	経営役員	海老原次郎	日産自動車九州㈱	代表取締役社長	芦澤俊介
トヨタ自動車㈱	Executive Fellow	河合　満	㈱安川電機	執行役員生産本部長	山本哲義
日本特殊陶業㈱	代表取締役社長	鈴木啓司			

■大会実行委員長

九州インダストリアル・エンジニアリング協会 ㈱戸上電機製作所	理事・運営委員長 取締役上席執行役員製造本部長	堤　俊樹

■大会委員

黒崎播磨㈱	耐火物製造事業本部設備部長	続木哲生	日産自動車九州㈱	取締役常務執行役員	大津稔充
西部ガス㈱	常務執行役員 エネルギー需給本部生産部長	舛本孝文	日本製鉄㈱九州製鉄所	生産技術部長	秦　啓二
西部電機㈱	執行役員 生産技術本部長 兼工場長	新貝幸樹	㈱ブリヂストン	九州生産部門長兼久留米工場長	杉山武司
大電㈱	取締役電線事業部長	森山一繁	三菱電機㈱	パワーデバイス製作所 製造管理部部長	井浦真一
ＴＯＴＯ㈱	執行役員技術本部長	合田智一	㈱ムーンスター	執行役員久留米工場長	高原清彰
トヨタ自動車九州㈱	ＴＰＳ推進部長	青木恵一	㈱安川電機	生産本部生産技術部長	竹下　哲
西日本鉄道㈱	鉄道事業本部運転車両部長	久木田桂一	ヤンマー建機㈱	生産部生産管理部部長	山崎　博

■大会実行委員

黒崎播磨㈱	耐火物製造事業本部マネージャー	南　祐基	西日本鉄道㈱	鉄道事業本部運転車両部 車両課課長	石橋正史
西部ガス㈱	生産部管理グループマネジャー	野口寿人	日産自動車九州㈱	工務部生産計画課 IE/NPW グループ主担	山田耕平
西部電機㈱	生産技術本部生産技術課課長	松岡大使	日本製鉄㈱九州製鉄所	生産技術部生産技術室主幹	戸田　優
大電㈱	電線事業部製造部生産技術課長	辻　純一郎	㈱ブリヂストン	久留米工場 工場企画管理課	大矢将人
ＴＯＴＯ㈱	技術本部生産技術推進部 製造革新推進グループ	魚住亨広	三菱電機㈱	パワーデバイス製作所 製造管理部生産技術第一課課長	安樂拓也
㈱戸上電機製作所	製造本部生産・改善統括部 生産技術 Ｇマネージャー	阿部真一	㈱安川電機	生産技術部生産基盤設計課課長	村上芳伸
トヨタ自動車九州㈱	ＴＰＳ推進部ＴＰＳ支援室 改善支援Ｇグループ長	熊田　浩	ヤンマー建機㈱	生産部生産管理部調達課課長	山田晴輝

開　催　要　領

と　き	2026 年 7 月　8 日(水)【全 体 会 議】13:00 ～ 17:30　【交 流 会】17:45 ～ 19:00 7 月　9 日(木)【事例発表会】10:00 ～ 16:00 7 月　10 日(金)【現場研修会】 9:30 ～ 12:00　※コースにより開催時間が異なります
ところ	【会場】福岡国際会議場　〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1 TEL/ 092-262-4111
対　象	経営幹部、管理監督者、IE・生産・モノづくりに関わるすべての担当者
参加方法	**【1 日目・2日目 全体会議・事例発表会】** ①来場参加: 福岡国際会議場〈1日目会場 ： 3階ホール 、2日目会場 ： 3階ホール、2階多目的ホール〉 ②オンライン参加: 講演のライブ配信をリアルタイムにご聴講いただけます。ネットワーク環境があれば場所を問わず参加が可能です。 ※分科会におきましては、来場およびオンライン参加のどちらでも発表者への質問が可能です。 ※ご参加の皆様は、大会終了後2週間、アーカイブ配信をご覧いただけます。(許可をいただいた講演者のみ) 【3 日目 現場研修会】 各受入先工場での開催(C コースはオンライン開催)
参加費	申 込 区 分 / 会 員 / 学識者・アカデミー / 一般(会員外) 1 日目・2日目参加 (全体会議・事例発表会) / 38,500 円 / 17,600 円 / 49,500 円 1日目～3日目参加 (上記＋現場研修会) / 49,500 円 / 28,600 円 / 63,800 円 ・1名につき:昼食代(2日目に来場参加される方)、消費税を含みます。 ・来場参加・オンライン参加は同額となります。 **・3日目(現場研修会)のみのお申込みはお受けしておりません。**
お申込みに関する注意事項	**【1日目:全体会議／2日目:事例発表会】** ・来場参加は定員制となります。お申し込み段階で定員に達していた場合は、事務局よりご連絡させていただきます。 ・参加方法(来場参加またはオンライン参加)に変更がある場合は、必ず事務局までご連絡ください。 **【3日目:現場研修会】** **・現場研修会は、希望コース(A～J)を第1～3希望までご選択ください。ご参加を希望されない方は、「不参加」をご選択ください。なお、各コース定員に達した時点で受付終了とさせていただきます。** ・同業者の方々のご参加をお断りする場合がございます。 ・同一企業より多数お申し込みの場合、別コースをご案内させていただく場合がございます。 **【その他】** ・申込いただくと、ご登録いただいた連絡担当者のメールアドレスに「受付確認メール」が自動配信されます。(申込確定ではありません) ・事務局にて申込内容、見学先の受入を確認した後、「申込確定メール」をお送りします。**「申込確定メール」が届いた時点で申込完了**となります。3日目の現場研修会をお申込みいただいた方は、「申込確定メール」にて決定した視察先等をご確認いただけます。 ・参加費は、「申込確定メール」に記載の URL より請求書を出力し、開催前日までに指定銀行へお振込み手続きをお願いします。振込手数料については、お客様にてご負担ください。 ・参加証は 6 月30日(火)に参加者のメールアドレスへ参加証(現場研修会を希望された方はコース案内)をメールにてお送りいたします。受付時に必要な QR コードを記載しておりますので、出力のうえ当日ご持参ください。 **・お申し込みいただいた方は、本大会終了後2週間に限り、セミナーの様子をアーカイブ配信でもご覧いただけます。(許可をいただいた講師に限る)** **・6 月30 日(火)以降のキャンセルは、参加費を返金いたしかねますので、代理の方でご対応願います。**当日欠席の場合も同様の扱いとさせていただきます。
ご参加に伴う注意事項	下記事項をご確認、同意の上、お申込みをお願いいたします。 **【来場参加・オンライン参加について】** **講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載、オンライン参加の場合は画面撮影、画面キャプチャー、SNS などへの掲載を固くお断りいたします。** もしも行為が確認された場合は、事務局より削除を要請するとともに、場合によっては著作権法違反等による損害賠償を請求させていただきます。 **【全体会議・事例発表会／現場研修会 C コースにオンライン参加の方】** ①**視聴に必要な ID・パスワード等はお申し込みいただいたご本人様(また本人の代理で視聴される方)のみ有効**です。他者との共有は出来ませんのでご注意ください。 ②当方に起因しないシステムトラブルにより画像・音声に乱れが生じた場合については、再配信や返金はいたしかねますので、あらかじめ ご了承ください。(必ず視聴確認ページでの試聴の上、お申し込み願います。) ③**ご視聴は1申込みにつき1名様でお願いいたします。** 社内のネットワーク負荷軽減のため、会議室で投影し複数名で視聴することもできますが、その際は視聴人数分のお申し込みをお願いいたします。 ④オンライン試聴に伴い発生する通信料はお客様負担となりますことをご注意願います。 ⑤本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。 **【現場研修会にご参加の方】** ① 当日の集合時間・場所・ドレスコード(安全具含む)等の詳細については、参加コース確定後にメールにてご連絡いたします。 ② 当日は、指定のドレスコード(安全具の持参を含む)にてご参加ください。 ③ 安全具の貸出しは一切致しておりません。
申込締切日	**2026 年 6月 29 日(月) 17:00**

お申込、事前視聴確認、パンフレット・テキストデータの入手は特設ページから

全国 IE 年次大会 福岡 で検索

お申込み方法と参加・聴講までの流れ

1 視聴確認 （オンライン参加）

九州 IE 協会 HP 内の「第６７回　全国 IE 年次大会特設ページ」に視聴確認ページを用意しております。
お申し込み前に当日の視聴予定の環境にて視聴可能かを、必ずご確認の上、お申し込みをお願いいたします。
※当日視聴環境により視聴ができなかった場合、ご返金致しかねますのでご注意ください。

2 お申込み

上記 URL の大会特設ページにある「お申込みはこちら」よりお申込み手続きをお願いいたします。
30 名を超えるお申込みの場合は、Excel シートを同ページに準備しておりますので、メールにてお申込みください。
セキュリティ上 Web 申込が難しい場合も、Excel シートに入力のうえメールにてお申込みください。
※申込確定（請求書発行）、視聴 URL や資料等当本部からのご案内はメールでいたします。
「@qpc.or.jp」のドメインを受信できるよう設定をお願いします。

3 お申込み確定まで

ＷＥＢ申込みいただきましたら、連絡担当者のメールアドレスに「申込**受付**メール」が届きます。
（自動返信　※この段階では申込確定ではありません）　※メールが届かない場合は迷惑メールフォルダもご確認下さい
▼
事務局にて内容確認し、「申込**確定**メール」（請求書の URL 記載）が届きましたら申込確定となります。
申込内容、見学先の確定コースは、「申込確定メール」で確認ください。
※３日目現場研修会をお申込みの場合は、受入先の確認後の確定となりますので、確定メール返信まで少しお時間をいただきます。

4 請求書の出力と支払い

「申込書確定メール」に請求書発行用 URL を記載しております。出力のうえ、開催前日までに指定銀行へお振込みをお願いします。振込手数料はご負担ください。

5 参加証（3日目の各コース案内）のご送付 （会場参加）

６月１日（月）以降、申込確定した方から順に、参加者のメールアドレスに、「参加証」（３日目現場研修会ご参加の方は「参加コース案内」も）をお送りいたします。
メールが届きましたら、申込内容に間違いがないか確認をお願いいたします。また、参加証は当日の名札となりますので、出力のうえ当日ご持参ください。

6 大会当日の視聴用URL、投影資料等ダウンロードのご案内

大会７日前（７月１日（水））に参加者メールアドレスに、当日の視聴 URL および ID・パスワードをご案内いたします。必ず事前にログインできるかテストをお願いします。
投影資料は、視聴用サイト内でダウンロードすることができます。必要な方は事前にダウンロードしてください。
※準備状況により、送信日時が前後する可能性がございます。
※メールが届かない場合はお手数ですが事務局までご連絡ください。

7 大会当日

＜来場参加の場合＞

当日は、事前にお送りした QR コード記載の参加証兼名札を印刷の上、会場までお越しください。
P.9「ご参加に伴う注意事項」を必ずご確認ください。
会場のネット環境にもよりますが、投影資料が必要な方は、視聴用サイトより事前に PC やタブレットにダウンロードされておくことをお勧めいたします。（紙の資料は配布しておりません。）

＜オンライン参加の場合＞

ネットワークの安定した環境より❻にてご案内の視聴方法にてご視聴ください。（視聴には ID・パスワードが必要です。）

※参加形態（来場参加またはオンライン参加）に変更がある場合は、必ず事務局までご連絡ください。
※当日資料は、視聴用サイトよりダウンロードいただけます。会場参加・オンライン参加ともに紙の資料は配布いたしませんので、必要な方は各自でご準備ください。

8 アーカイブ配信

配信期間は 7 月 22 日（水）10：00～8 月 5 日（水）23：59 です。
❻にてご案内の視聴方法にてご視聴ください。（視聴には ID・パスワードが必要です）
※アーカイブ配信の許可を頂いた講演者、発表者に限ります。
※3 日目（現場研修会）のアーカイブ配信はございません。

会 場 略 図（7月８日･9 日）

■交通アクセス

JR 博多駅から徒歩約30分　タクシー約10分　バス約13分　地下鉄中洲川端駅から徒歩約15分
福岡空港からタクシーにて15～20分
詳細は会場 HP：https://www.marinemesse.or.jp/congress/access/

大会の最新情報、お申込、事前視聴確認などは特設ページから
お願いします！
見学会ご希望の場合は早めのお申込みをお勧めします！

第 67 回全国 IE 年次大会 で検索

■お問合せ先

九州インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82(電気ビル共創館6階)
TEL 092-771-6481 FAX 092-771-6490 https://qpc.or.jp/relations/ie.html
●担当: 安松 ・ 三小田(さんこだ) ・ 田村 ・ 西田 ・ 坂本

日本インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12 (公財)日本生産性本部内
TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069 https://www.j-ie.com/ ●担当:菅野

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15(豊島ビル11階)
TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265 https://www.cpc.or.jp/ie/ ●担当:鬼頭

関西インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27(中之島センタービル28階)
TEL 06-6444-6464 FAX 06-6444-6450 https://www.kpcnet.or.jp/kiie/ ●担当:金谷